

事業所名		福岡療育支援センターいちばん星志免 児童発達支援 志免きらら園					
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	85.7%	14.3%	・子ども達の状況等を考慮して配置を工夫している	・目に付くところを物置かない。整理整頓	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	85.7%	14.3%	・一対一つけることで、療育が充実している。	・職員の休みや送迎を考慮すると余剰で人手があると余裕がもてる	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	71.4%	28.6%	・パーテーション等で環境設定している	・物が増えてきているため、環境整理が必要	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%	・日々の掃除は心がけている ・パーテーション等で環境設定をしている		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	28.6%	71.4%	・パーテーションで対応している	・別室も時には必要と感じる ・パーテーションでは活動によって集中しづらい	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	100.0%	0.0%	・ミーティングや会議に職員が参加している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	85.7%	14.3%			
適切な支援の提供	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	・毎月の研修がある。 ・外部研修への参加の機会もある		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	85.7%	14.3%			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	・部署内で検討するミーティング時間を設け、他職員の意見を取り入れながら子どもも一緒に合わせた支援計画を立てている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	・個別支援会議を行うことで共通理解に繋がっている		
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	・部署内で検討する時間を設けており、チーム内での共有もしやすい		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	57.1%	42.9%	・アセスメントシートをもとにセラピスト間での情報共有は行っている ・日々の状況は部署内で評価・確認している		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	・モニタリングなどで情報共有をし、それぞれに必要なと考えられる支援を意識して個別性をもった内容設定が行われている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	85.7%	14.3%	・育児を中心に、他職員の意見も取り入れながらチームでの検討が行われている	・全員周知はもう少し改善をしたい	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	・似たような活動でも、選択肢を増やしたり方法を追加・変更するなど工夫している		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ見て児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	・個別性を意識して、いろいろな活動の中でそれぞれ課題・目標を立てて関わっている		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	85.7%	14.3%	・日により表記のみの確認になる場合があるが努めて個々で声掛けをしている ・昼のミーティングでしっかり打ち合わせ出来ている	・勤務時間が違うと難しいことがある	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	85.7%	14.3%	・要点だけの場合は翌日会議等で詳細をカバーしている ・クローズミーティングなどの時間を確保して振り返りをする時間を設けている	・勤務時間が違うと難しいことがある	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	・その日の子どもたちの反応や様子など、記録は必ず残している		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%			
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参加しているか。	100.0%	0.0%	・出席する職員が担当からしっかり情報共有して参加している	
		25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	85.7%	14.3%	・シームレス内での関わりや保育所訪問など、連携しての関わりは積極的に進めている	・主治医は保護者経由になってしまつ事が多いので、改善が必要
		26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を回っているか。	100.0%	0.0%	・保育所等訪問や担当者会議などを中心に情報共有を行なっている	
		27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を回っているか。	85.7%	14.3%	・サポートブックの作成や事業所での見学等に対応している ・保育所等訪問や担当者会議などを中心に情報共有を行なっている	
		28	(28～30は、センターのみ回答)				
29		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を回り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。					
30		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
31		(31は、事業所のみ回答)					
32		地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	42.9%	57.1%		・情報共有する機会は作っていても、研修までは現状難しい	
33		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	14.3%	85.7%		・地域の保育所より他事業所やシームレス内での関わりが多い	
保護者への説明等	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	・送迎時のフィードバックや親子療育の機会を活用している		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	57.1%	42.9%	・親子療育の機会を定期的に作っている		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	85.7%	14.3%			
	37	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%			
	38	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%			
	39	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	85.7%	14.3%	・定期的な、親子療育や個別療育の見学の検討など保護者と話ができる機会を作っている ・児童発達支援の保護者と放課後等デイサービスの保護者間交流を増やしている		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。	85.7%	14.3%			
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%			
	42	定期的に連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	85.7%	14.3%	・SNSの更新は定期的に行なっている		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	85.7%	14.3%	・職員全員が意識して出来ている		
非常時の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を回っているか。	14.3%	85.7%		・地域の事業所、シームレス内に限っているので拡げていく事が今後の課題	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	・定期的な物品確認と訓練を行っている		
	48	事前に、職業や予備接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握しているか。	100.0%	0.0%	・情報共有しやすい様にカルテに情報をまとめている		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	85.7%	14.3%	・契約時に確認している		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%	・義務講習を受講して、日々の療育での支援に繋がっている		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%	・送迎時やLINEなどを活用してご家族との情報共有をしている		
	52	虚偽を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	・義務講習を受講して、日々の療育での支援に繋がっている		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	・必要に応じて十分な説明を行う時間を設けている		